

●ここを書かなければならなかった時点では、目前にKINIASの発表が控えてこれから大変になりそうだ、ってなことを書くつもりでいました。その発表はバタバタのうちに当日を迎え、何とか終了。与えられた発表時間（20分+質疑応答5分）の間に言いたいことを詰め込むのに毎回々々苦勞します。煉瓦のことだけで6時間くらい喋らせて貰えるような機会はないもんだろかねえ。

などというような尊大なことを考えたせいか、終了直後から大風邪を引き、何もできないまま日が過ぎて今に至っております。罰が当たったのでしょうか。まだ喉が痛いです。後頭部がずしんと重いです。四肢末端がしくしく泣いています。つらい。以前みたく何日も寝て過ごすわけにいかなくなったからなあ…（な）

●県内にかつて存在したたくさんの分校。

その全てを訪れるのは無理としても、リスト化くらいはしたいな・・・。

と思っていたら、すでにWikipediaの1ページに存在していた。

これは便利、と眺めてみると、随分と欠落が多いことに気付いてしまった。

これが発火点になって、「じゃあオレがやる」と一瞬考えたものの、やはり海が広すぎる。

そこで、エリアをぎゅっと絞って分校の盛衰を年表化してみることにした。

が、しかし、これが結構な泥沼で、関心が薄いのか思ったより資料が乏しい。

どんな山奥の小さな集落にも学校があった。

かように日本人は子供の教育に熱心であった。

他国が真似しようとしてもできないこの情熱が、現代に至るまで「日本」の基礎を支えているのだと思う。

「その地域に学校がある」という意味。「学校がなくなる」という意味を、改めて考えさせられた。（つ）

BEAR TYRE